

2024 年度 個人研究実績・成果報告書

2025 年 4 月 27 日

所属	商経学部	職名	准教授	氏 名	三田村 智
研究課題	中小企業金融における協同組織金融機関の役割と課題				
研究キーワード	中小企業金融、企業金融	当年度計画に対する達成度	3.概ね順調に研究が進展し、一定の成果を達成したが、一部に遅れ等が発生した		
関連するSDGs項目	8.働きがいも経済成長も	9.産業と技術革新の基盤をつくろう	該当なし		該当なし

1. 研究成果の概要

我が国の中小企業の持つ特殊性として、短期的な企業価値の最大化ではなく、事業の継続性や、当該組織の持続的な発展が重視されてきている点がある。創業〇〇年の老舗企業がもてはやされるのもその好例である。

かかる中小企業に対して円滑に資金提供可能な組織の1つが、協働組織金融機関である。当該金融機関による地域金融のあり方が、コロナ禍後にも継続して問われている。伝統的な協同組織金融機関などの地域金融機関が、現在の中小企業金融の諸問題にどれだけ有効に機能しているのかという問題意識に対して、継続してデータや文献を収集・整理することができた。

また、関連して、主宰するCUC 中小企業マネジメントスクールでは、中小企業のDX改革をテーマに中小企業経営者である外部講師を招いて全4回の講座を開催することができた。本スクールを通じて、中小企業の中でもDX改革について先駆的な取り組みを行っている企業が規模の大小問わず数多く存在することが確認できた。そこでは、中小企業の持続的な発展をDXがどのように支えうるのかが問題意識となっていた。あらためて事業の継続性について重視する中小企業の立場が浮き彫りとなった。

2. 著書・論文・学会発表等

(できるだけご記入ください。査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載)

【論文（査読あり）】

特になし。

【著書・論文（査読なし）】

特になし。

【学会発表等】

特になし。

3. 主な経費

故障し修理対応期間が過ぎたレーザープリンターの買い替え、参考文献の購入、PC ソフトのサブスクリプション費用、各種機器備品の購入、関連学会の年会費支払、消耗品購入などに、個人研究費を有効活用することができた。

ただし当初予定していたノート PC 購入がレーザープリンターの買い替えにより実現できなかったため、一部予算をノート PC 購入のために次年度へ繰り越し申請した。

4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）

特になし。

（本文は 2 ページ以内 にまとめること）